

ハンドボール

No. 8

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	10
----------	----

年月日	2018年9月14日(金)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公式記録用紙

A 北海道						熊本県						B		
都道府県 福井県		市町村 福井市			会場 福井県営体育館						回戦 2回戦			
前半	A 11	B 18	最終 結果	A 20	B 36	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC	A	B
7mT得点/総数	A 1/2		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B 1/1	7mT得点/総数	
	1	2	前	3					1	2	3			
	08:41	26:16							29:36					

No.	北海道	G	W	2'	2"	D	DR	No.	熊本県	G	W	2'	2"	D	DR
1	蟹澤 廣太							1	西田 翼						
2	木村 翔之介	5						2	鍛柄 拓夢	7	1				
3	平間 直	3						3	平生 裕太郎	2					
4	富川 優斗			1				4	桑野 麗	4					
5	後藤 碧							5	岩崎 琢未	1					
6	吉松 俊祐	1						6	緒方 太夢	2		1			
7	奥 崇大	2						7	平田 由樹	5					
8	棚橋 颯太	1						8	塚田 直央	2					
9	山本 大暉	1						9	蓮澤 圭	3		1			
10	高橋 知也	7	1					10	白鳥 耀	3					
11	市場 恒乃介							11	本崎 大聖	7	1				
12	三島 大生							12	濱崎 弘己						
役員A	亀山 耕司							役員A	鎌田 雅彦						
役員B	武田 侑也							役員B	重村 達浩						
役員C	萬屋 築							役員C	田原 春穂						
役員D	濱畑 更久斗							役員D							

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	貝沼 圭吾	須原 幸一		
T D	竹野 誠司	林 誠司		
J H A オフィシャル				

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

No. 5

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9 / 13日(木)・14(金)・15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	10
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	成年	少年
	B	福井市体育館	性別	男子	女子
	C	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦	二回戦
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝	準決勝
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦	決勝
Aチーム名			Bチーム名		
北海道			熊本		
得点合計	小計		小計		得点合計
20	11	前半	18	36	
	9	後半	18		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
	7mTC				

戦評

大会2日目。少年男子2回戦第1試合、北海道対熊本県の対戦は、熊本県のスローオフで始まった。試合開始後に熊本県⑨蓮澤の速攻でのシュート、⑧塚田のシュートが決まり波に乗る。北海道もセンター②木村の鋭いフェイントで熊本DFを崩す。熊本県も②鍛柄などで4連続得点を決めたところでたまたま北海道がタイムアウトを取り、流れを変えたいところだが熊本の硬いDF前になかなか点が入らない。その間に熊本県は15分までに11対4と差を広げる。しかし北海道も⑩高橋の力強いシュートで5点差まで追い上げを見せるが北海道にミスが目立ち始めたところを逃さない熊本⑩本崎の速攻、⑦平田のシュートが前半終了間際に得点が決まり前半を18対11と熊本県リードで折り返す。

後半、熊本県のスローオフで始まり、北海道⑦奥が得点を決め試合が動き出す。後半に入り北海道も得点を重ねるが熊本県も④桑野のサイドシュートが決まり8点差まで広げる。これ以上はなされたくない北海道も⑩GK三島の好セーブで持ちこたえるが、熊本県の勢いは止まらず後半15分で27対17となる。さらに熊本県は⑩白鳥のスピードあふれる速攻で12点差にする。北海道のミスを逃さない熊本県は③平生のシュート、④桑野の好プレーなどで残り5分、34対19。最後はどうとう北海道は力つき、36対20で熊本県が3回戦に駒を進めた。

記載者氏名	落合 信也
送信日時	月 日 ()
送信者署名	